## 1 ソフトウェアの起動

「SmartSiteUtility」と「デマンド監視ソフト」が、 両方起動していることを確認します。



## 2 「SmartSiteUtility」での確認事項

Smart Site Utility - [標準]				
ファイル(E) モニタ(M) 記録(R) アラーム(A) X	ソール(I) ヘルプ(H)			
受 受 受 回   MAPエディタ リスト 通信確認 モニダ開始		記録動作中		
モジュールリスト   レイアウトリスト   ④ 〒- 単 パシコン 日- 単 COM ID: 01 (2854 メモリモジュール) ⑤ □ ┃ ID: 01 (2804 パリスモジュール)	↑ © 3	1		
	次回定期収集 11:56:40   11:55:52			

#### (1)通常時の動作確認

①「記録動作中」と表示されていますか?表示されていない場合、記録を開始しておりません。 [記録設定]ボタンをクリックし、[記録の開始と停止]画面で、[記録開始]ボタンをクリックし記録を開始します。

②「定期収集」ボタンは押されていますか?

押されていなければクリックし、押された状態としてください。

③定期収集の確認

次回定期収集の時刻に達したとき、データを収集するか、確認します。

表示時刻になっても収集を開始しない場合、設定ファイルが壊れている可能性があります。

[記録設定]ボタンをクリックし、[記録の開始と停止]画面で、[記録停止]ボタンをクリックします。

再度[記録設定]ボタンをクリックし、[記録の開始と停止]画面で、[記録開始]ボタンをクリックし追記記録します。 データ収集画面が起動し、定期収集が動作することを確認します。

### (2)トラブル時の動作確認

④「通信確認」ボタンを押し、「確認を実行」をクリックし、機器との通信を確認します。

(「モニタ」機能が有効の場合、通信確認が出来ません。「モニタ開始」の状態にしてください。)

- 右記、エラーメッセージが表示された場合、
- a. 2361の電源は入っていますか?
- b. LANケーブルは接続されていますか?
- c. モジュールのLED表示色
- d. モジュールベースのTERMINATIONスイッチ
- を、確認します。詳しくは設置参考資料のp.4/5を参照してください。

また、「スタート」ー「すべてのプログラム」ー「アクセサリ」ー「コマンドプロンプト」を起動し、pingコマンドを送信してみます。

ping IPアドレス(例:ping 192.168.1.11) (IPアドレスは、⑤のCOMIDを右クリックし、設定を確認します) と入力し、下記のような応答があれば、通信は正常です。

ただし、TTLが128に近い数値の場合、IPアドレスが重複している可能性があります。

この場合、情報システム担当者にご確認ください。

- Smart Site	e Utility - [ヲ	「マンド監視	見]		
ファイル(F)	モニタ(M)	記録(R)	アラーム(A)	ツール(T)	$\sim \iota$
<b>ク</b> MAPエディタ	1 1 1 1 1 1 1 1	して 通信確認	モニタ開始		
モジュールリスト	-   レイアウトリン	גר]			
בעא 📮 יים 🛛	ン 				
	OM II ID: 01	2354 乄モ	ミリモジュールの	D設定	
		設定ファイ	イルをCFに保存	·	

C:¥>ping 192.168.1.11
192.108.1.11 に PING を送信しています 32 ハイドのテーメー 192.168.1.11 からの広答・バイト数 =32 時間 =86me TTL=64
192.168.1.11 からの応答: バイト数 =32 時間 =1ms TTL=64
192.168.1.11 からの応答: バイト数 =32 時間 =1ms TTL=64
192.168.1.11 からの応答: バイト数 =32 時間 =1ms TTL=64
102 162 1 11 の pipg (本計・
バケット数: 送信 = 4. 受信 = 4. 損失 = 0 (0%の損失).
ラウンド トリップの概算時間 (ミリ秒):
最小 = 1ms、最大 = 86ms、平均 = 22ms

# 3 デマンド監視ソフトでの確認事項



デマンド監視ソフト(高機能版)

デマンド監視ソフト(基本版)

(1)通常時の動作確認

①「監視中」または「デマンド監視中」と表示されていますか?

②更新時刻は、パソコンの時計と近い(1分程度) ですか?

③パソコンの時計は正確ですか?

(2)トラブル時の動作確認

④「デマンド監視開始・停止」ボタン 🔟 を押し、設定内容を確認します。 「監視中」の場合、「停止」ボタンをクリックし、一旦デマンド監視を停止させます。

「データ取得設定」ボタンを押し、

- a. 記録ファイル名、保存場所
- b. モジュールIDの選択

c. CT比

を、確認します。詳しくは設定マニュアルのp.8を参照してください。

a. を確認時、「データファイルがありません」とエラーが 表示された場合、本日の最新データが更新されていません。 SmartSiteUtilityでの確認事項を、再度確認ください。

デ	ータ取得設定
	記録ファイル (*hrp)を開く
	C¥Program Files (x86)¥SmartSiteUtility¥samplehrp
	ーモジュールID選択
	通信モジュールID 02 💌 計測モジュールID 01 💌
	CT比設定
	10
	OK キャンセル

(3)ソフトウェアの終了方法

④「デマンド監視開始・停止」ボタンをクリックし、 「デマンド監視開始・停止」画面を表示します。 「監視中」は、ソフトを終了できませんので、「停止」 をクリックした後、ソフトウェアを終了します。 なお、管理デマンドもこの画面で変更します。

デマンド監視開始・停止	
ーデマンド監視インターバル 一 © 1分 © 5分	管理デマンド デマンド値 <u>340</u> kW 30分積賞電力量目標値 <u>170</u> kWh
警報通知方法	電子メール通知
	監視中
☑ 次回からこの設定で監約	見を自動開始する。
適用	停止 閉じる

(4)過去の記録データの表示方法

ツールバーの「表示」をクリックし、表示したい項目を 選択します。

📲 9688 デマンド監視ソフト		
ファイル(F) デマンド監視(M)	表示(V) ツール(T) ウィンドウ(W) へ	レプ(H)
a d 🙆 🖂 📾 📾 🖻	電力負荷グラフ	
	リアルタイムモニタ	
	電力量トリップメータ	
	積算使用量グラフ・表	
	30分デマンド <sup>*</sup> 値グラフ・表	
	過去の電力負荷グラフ	
	警報通知履歴	